



○集団下校、歓迎遠足 無事終了。そして臨時休業へ。

南陽小学校の新年度が始まって2週間。新入生も含めて、それぞれの場所で「いい顔 いい声 いい心」が躍動しています。先週末は、木曜日に集団下校、金曜日に歓迎遠足が行われましたが、どちらも子供たちが「何のために行っているのかを考えること」「人を思いやりながら行動すること」を意識して行動したことで、素晴らしい成果を上げていました。

実際に、地域の方から「こんなに自分たちで声を掛け合い、協力しながら集団下校している姿は初めて見ました」とか、「この頃、子供たちのあいさつが素晴らしくて気持ちがいいです」といった声を届けていただいています。

教育の目的は「人格の完成」であり「社会の形成者として必要な力」を育成することです。その目的にたどり着くために、教職員や保護者、地域の皆様が力を尽くし、それが子供たちの姿として現れるのは大変嬉しいことです。

☆

さて、いい滑り出しができて南陽小学校ですが、昨日お知らせしたとおり、明日22日（水）から5月6日（祝・水）まで新型コロナウイルス感染症対策のため臨時休業となります。休み中の学習課題については各担任からお知らせしていますが、子供たちには、今回休業になった趣旨を踏まえて過ごしてほしいと願っています。ピンチはチャンスといいますが、この機会を生かした様々なチャレンジをしてほしいと思いますし、「いつも通りの生活」が実はとても幸せなことなのだというを実感してほしいと願っています。

○ほめる種をまく

子供たちが家庭で過ごす時間が増えます。子供たちは、最初は「自由な時間が増えてラッキー」という感覚があるのかもしれませんが、徐々にみんなと一緒に活動できないストレスがたまっていくことも考えられます。そんな時に保護者の皆様をお願いしたいのは、「子供をほめる種」をまくということです。

日本の国語教育のパイオニアとして、教壇に52年間立ち続けた大村はま先生はこのように述べています。

子供をほめることが大切です。

でも、いいことがあったらほめようというのではなく、ほめることがでてるように「ほめる種」をまいていくことを大切にしたいと思います。

こんな視点を持って子供たちを見てみると、これまで気付かなかったよさやがんばりが見えてくるときがあります。ぜひ意識されてみてください。

大変なときですが、子供たちの心と体を私たち大人がしっかり守っていきましょう。